

新緑の里山をステージに

森のおんがくかい2007

NPO法人どんぐり協会(菅原仁也理事長)主催による「森のおんがくかい」は5月12日、曾慶地内の北国環境緑化植物採種園で行われ、新緑の里山をステージにした会場に約100人の観客が集いました。

この音楽会は、多くの人に山に足を運んでもらおうと昨年に続いて催されたもので、オカリナ奏者の瓜生満美さん=仙台市=が「わすれな草をあなたに」「コンドルは飛んでいく」などを披露。続いて曾慶出身の佐藤洸さん=盛岡市=によるアコーディオン演奏や宮沢賢治のお話、「精神歌」の合唱などが行われました。

来場者の伊東ヒサ子さん=大東町=は「プロのすてきな音楽を身近に聴けてとてもよかったです。ぜひまた企画してほしいですね」と満足そうでした。菅原理事長は「さまざまな活動を通じて、山の魅力を広く発信していきたい」と語っていました。

同協会は、豊かな里山の環境を利用してグリーンツーリズムや、癒しと遊びを追求しながら緑の環境を守ろうと17年10月に設立。会員は現在50人以上と、賛同者が日に日に増えています。春は山菜、夏は花、秋にはキノコや紅葉を楽しみ、木の実を材料としたジャム作り教室、そしてツリークライミング教室や植物観察会など、さまざまなイベントを催しています。

同協会は現在、市の木「ぶな」の苗木約6万本を育て、20年には無料で両磐の全世帯に配布する計画です。

初めての職場は図書館

5周年記念祭で一日司書体験

千厩図書館開館5周年記念祭は4月28、29日の両日、千厩図書館で催されました。図書館友の会による古本市やもちまき、今野昭範マンガ展など盛りだくさんの内容に、来館者は本に親しみながら楽しいひとときを過ごしていました。

29日は、千厩地域の小学4年生から6年生までの9人が一日司書を体験しました。子どもたちは窓口での本の貸し出し、返却の受け付けと返却された本を分類し書棚に戻す仕事を交代で実施。おはなし会では絵本の読み聞かせをするなど、初めての仕事に戸惑いながらも一生懸命に取り組んでいました。



真剣な表情で図書館の仕事に取り組む小学生

青空の下、泥んこで笑顔

松川小で田植え体験

松川小(津川哲二校長・児童130人)の3年生から6年生の児童93人は5月14日、地元老人クラブの皆さんと田植えを行いました。児童は植え方の説明を受けた後、早速永澤隆さん所有の水田にはだして入り、泥に足をとられて歓声を上げながら丁寧にヒメノモチの苗を植えました。

須藤真輝さん(5年)は「足がはまったりしたけれどもうまく植えられた」とにっこり。農業学習の指導をしている小野寺勝郎さんは「この辺でもコメ作りをやめ、荒れた土地が増えてきている。田植え体験を通して、家族と農業について話してもらえれば」と話していました。



元気に田植えを行った松川小児童



八目目の室根神社で山の安全を祈りました

観光シーズン到来!

県内トップ切り室根山山開き

県立自然公園室根山(標高895.4m)の山開きは4月22日、県内のトップを切って行われました。当日はあいにくの雨で太鼓のアトラクションや一斉登山は中止となりましたが、八目目の室根神社で祈願祭が行われ、小山室根地域自治区長らがシーズン中の安全を願いました。

天気の良い日には、山頂から東は気仙沼湾、西は須川岳と雄大な眺望を満喫することができる室根山。

山開きと併せ、きらら室根山天文台やふるさと自然公園センターもオープン。5月1日には望洋平キャンプ場も利用開始を迎え、室根山の観光シーズンが幕を開けました。